



励起子の干渉効果を利用したテラヘルツデバイス開発



講師： 小島 磨 先生 (神戸大学 准教授)

日時： 12月6日(水) 16:30~17:45

会場： サイエンスホール

近年の情報通信容量の増大に伴い、テラヘルツ(1テラ=10¹²)オーダーで動作するデバイスの開発が盛んに行われている。そのようなデバイスの動作原理として、我々は励起子間のコヒーレントな干渉を利用することを提案し、研究を行っている。本講演では励起子間の干渉現象に関する過去の研究などを紹介するとともに、そのような干渉現象による超高速光応答やテラヘルツ電磁波の発生について最近の実験結果などを紹介する。